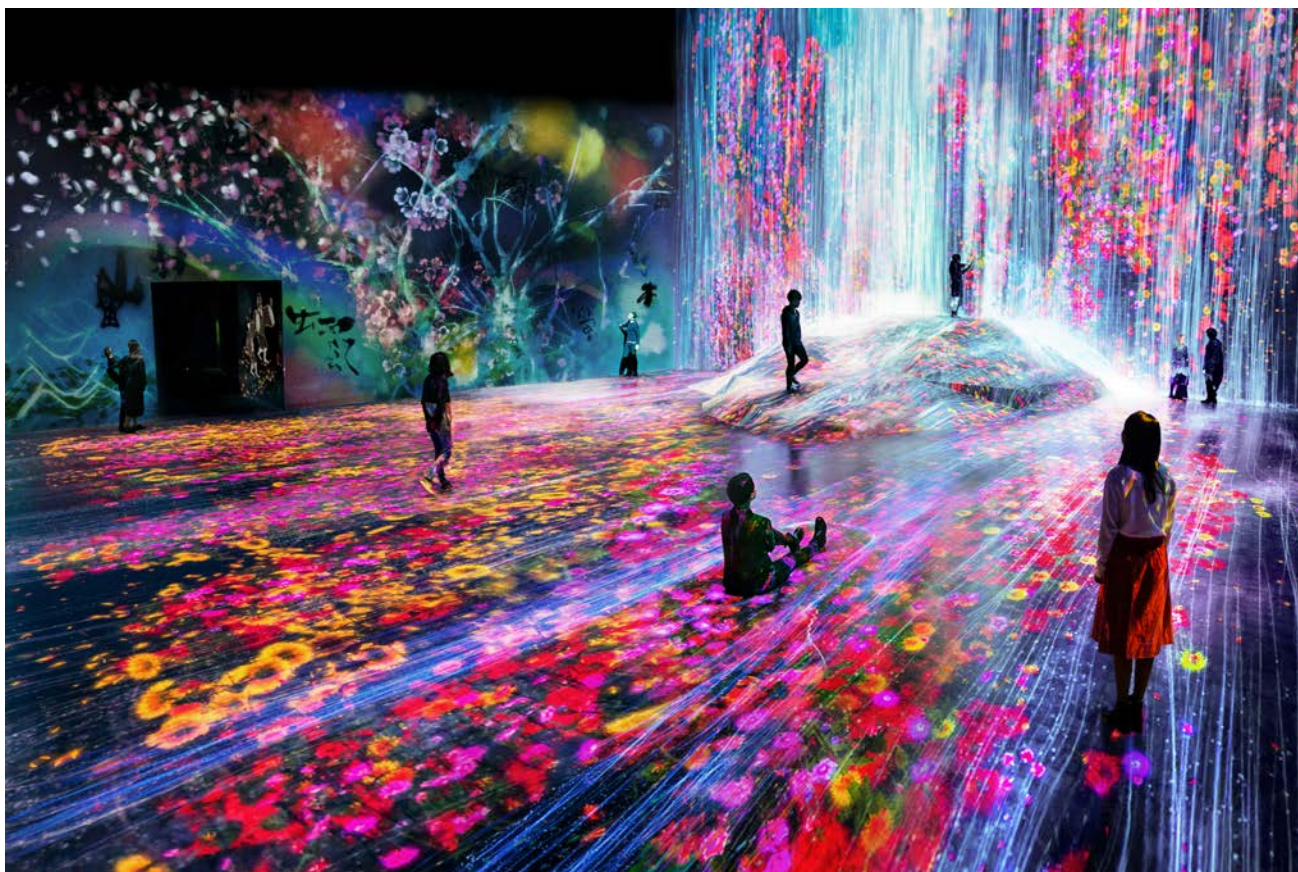


2018年6月20日

「MORI Building DIGITAL ART MUSEUM: EPSON teamLab  
Borderless」PM業務について  
～森ビルとチームラボによる世界に類を見ない、  
全く新しいミュージアムの実現を支援～

株式会社山下 PMC（本社：東京都中央区、代表取締役社長：川原秀仁、以下山下 PMC）が PM（プロジェクトマネジメント）業務を担っている「MORI Building DIGITAL ART MUSEUM: EPSON teamLab Borderless」が、明日、2018年6月21日（木）に開業します。



ミュージアムの展示作品イメージ

本施設は、森ビル株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：辻慎吾、以下森ビル）とチームラボ株式会社（本社：東京都文京区、代表取締役：猪子寿之、以下チームラボ）が共同でオープンするデジタルアートミュージアムです。10,000㎡という圧倒的な広さをもつミュージアムは5つの空間で構成され、世界初公開作品を含む約50作品を展示。“Borderless”のコンセプトのもと、展示作品は他の作品との境界線がなく、観賞者が自らの身体を使って探索しながら、他者と共に新しい体験を創り出していき、世界に類を見ない全く新しい世界となります。

山下 PMC は、プロジェクトの実現に向けて、企画から工事段階までのプロセスに参画。建物本体の改修から作品展示において、関係者間の調整、各種発注戦略の策定、各種発注支援、予算管理、品質管理、スケジュール・課題管理などのプロジェクトマネジメントを推進しました。

昨今、従来の枠組みを超えて、複数の分野・業種が融合し、新たな体験・価値を提供する場が広がっています。まちづくりや建築におけるデジタルやアートの役割がますます強くなっていく中、本施設の存在が世界中の人を惹きつけ、大きな影響を与えることが期待されています。

山下 PMC では今後も、文化やアートなどを軸にした、にぎわいを生むまちづくりの実現に向け、プロジェクトの支援を進めていきます。

### **MORI Building DIGITAL ART MUSEUM: EPSON teamLab Borderless**

アートは、部屋から出て移動し始め、他の作品とコミュニケーションし、他の作品と境界がなく、時には混ざり合う。そのような作品群による、境界のない1つの世界、『チームラボボーダレス』。

境界のないアートに自らの身体を没入させ、作品群からできた世界を自らの身体で探索し、他者と共に新しい体験を創り出していきます。

520 台のコンピューター、470 台のプロジェクター、10,000 m<sup>2</sup>の圧倒的なスケール感と、複雑で立体的な空間が特徴の世界に類を見ない全く新しい世界です。

#### **【本件に関するお問い合わせ】**

広報担当：小掠／鎌田

Mail：info@ypmc.co.jp